

# たか、し



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 卒業・進級を迎えるにあたって

校長 本橋 忠旗

桜の芽も大きくなり、間もなく開花の時を迎えようとしています。今年度の学校生活もいよいよ締めくくりの時を迎え、それぞれの新しい出発の時となりました。

さて、随分と前ですが、ある新聞に『最後の砦』責任を学ぶ」と題された記事が掲載されていました。それは、医師を志す高校2年生の学生が医療現場の体験プログラムに参加したときの様子を紹介したものでした。

プログラムに参加した学生は、医療現場で初めて心臓移植の厳しい現実を目の当たりにします。医師の「患者がどう生きていきたいのか、どう最期を迎えたいのか。患者本人が一生懸命考えることを手伝うのが医の原点だと思う。」という言葉に「命を救いたくて医師を志していたのに、私は死が怖い。先生たちのような覚悟がない、だめだ。」と動揺する日々が続きました。また、健康に暮らす人や心臓移植を待ち続ける人の姿を見て、落ち込むこともありました。しかし、「どれだけ忙しくても、毎日顔を出してくれる担当医が私の支え」という患者さんの言葉を聞いて、「そんな医師になりたい」と心境に変化が生まれます。そして大手術を終えた医師に何が一番つらいかを尋ねた時の「それは、患者を失う時。(医師を) やめたいと思ったこともあるし、やめるのは簡単だ。だが、次の患者が待っている。」という言葉に心が大きく動かされます。体験プログラムの最後には、「命と向き合うことがどれだけつらく、苦しいことか。それを理解した上で、医師を目指す覚悟がもてた。」と感想を述べて終わります。

この記事から考えさせられることは、体験プログラムの中で、医師という仕事への理解と自分の生きる道について考えを深められたことではないかと思います。

子供たちは、いずれ自分の進路を決めていかななくてははいけません。それはどこの学校に進学するかというだけでなく、「社会人としてどう生きるか」を自分で決めるということではないかと思います。

6年生には、卒業・進学のお機会を通して、「自分の生き方」や「なりたい自分」について、自分なりの考えを深めたり、「やってみたいこと」を見付けたりしながら多くの人と出会い、学びを深める時間にしてほしいと思います。そして、他の学年の子供たちには、進級を機に、それまでの経験を生かして、誰かのために働いたり、責任をもって自分の役割を果たしたりしながら、人と関わることの楽しさや喜びを感じてほしいと思っています。

本日、令和5年度の修了式を迎えました。子供の成長を支える私たち大人が、子供の頑張りや変化を評価・価値付けし、子供が自分の存在意義に気付くように支えていきたいものです。進学や進級が、社会へ羽ばたこうとする子供たちのエネルギーになるようにしたいと思います。

多くの皆様のご理解とご協力によって、ここまで来ることができたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## <令和6年度の教育活動について>

令和6年度のおよその年間予定は、保護者会でお知らせしたとおりですが、改めて令和6年度の教育活動の概要についてお知らせします。

### ○年間の予定

- ・ 運動会は、暑さ対策の観点から11月9日（土）の1日開催とします。また、空調の効く環境で取り組むことができる学芸会を10月11日（金）児童鑑賞日、12日（土）として行います。
- ・ 高学年の宿泊学習は1学期に実施し、6年生が6月3日（月）～5日（水）長野県白樺湖周辺、5年生が7月10日（水）～12日（金）山梨県山中湖周辺の施設を使って行います。
- ・ 学校公開を年間4日、運動会や学芸会、道徳授業地区公開講座、保護者会等で、月1回程度は、学校においていただけるようにしていきます。その他、お子様のご相談事などは、随時、面談を行いますのでご連絡ください。
- ・ 夏季休業中の水泳指導は、杉並区の方針を受けて中止とします。なお、個人面談は引き続き夏季休業中に実施し、夏季パワーアップ教室も併せて実施します。

### ○主な教育活動

- ・ 課題解決型の学習を通して、児童が主体的に他者と協働しながら問題解決に取り組んだり、探究的な活動を行ったりすることで、課題解決の楽しさが分かり、学び続けようとする態度の育成に努めます。
- ・ 第1学年及び第2学年では、教科時数外で年間5時間の英語遊びを設定し、6年間を通して、外国語を用いたコミュニケーションに慣れ親しむことができるようにします。
- ・ 縦割班活動では、上級生のリーダーシップが発揮されるよう活動を工夫し、よりよい人間関係を育てていきます。
- ・ 近隣幼稚園・保育園との交流会を年3回行い、園児が小学校生活の円滑なスタートがきれるようにするとともに、児童が自己の成長に気付いたり、他を思いやる心を育んだりできるようにしていきます。また、神明中学校との「遊びのフェスタ」や生徒会による交流事業を通して、児童が中学校生活に希望をもつことができるようにしていきます。
- ・ 特別支援教室と言語通級指導教室の連携による共生理解教育を各学年での実施に拡大し、多様性の理解を推進していきます。
- ・ 学校司書や保護者の図書ボランティアによる読み聞かせ、読書月間の取組を通して、読書活動の推進を図り、読書への動機付けを行い、読書力の伸長を図っていきます。
- ・ 不登校別室支援を開設し、児童の学びの機会や居場所の整備の準備を進めます。
- ・ 専門的な知識や技能をもった地域人材の活用や保護者、学校支援本部の支援を得ながらの学習活動を推進し、保護者・地域・学校が一体となって児童を育成していきます。

### ○ お知らせ

- ・ 令和6年度からPTA発行の保護者証に代わり、年度ごとに学校から「保護者入校証」を発行します。
- ・ 始業式の翌日、4月9日よりテトルの運用を開始します。5月号から、学校だより、学年だより、保健だより、給食だよりを電子配信する予定です。
- ・ 一部報道にあります水筒の扱いについては、これまでランドセルの中での保管としました。4月以降は、改めてお知らせします。